

タイトル「2021年度 人間学部」、フォルダ「大学 人間-コミュニケーション社会学科」
シラバスの詳細は以下となります。

科目名	地域社会学		
英文科目名	Sociology of Community	他学部他学科履修可否	○
担当教員	古市太郎		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	2
講義室	W-206	開講学期	前期
曜日・時限	金 3	単位区分	選択,選必
授業形態	講義	単位数	2
キャリア該当科目			
備考			
ディプロマポリシー	1. 社会問題への洞察力、コミュニケーション能力、社会調査能力、実践力などを活かし、地域課題を解決し地域再生の核となり活躍するために必要な知識や意欲を身に付ける。		
授業の目的・到達目標	<p><授業のねらい> 「地域社会とは、経済・社会・文化・歴史等においてひとつのまとまりとして意味をもつ場所」であり、そこに関わる人々の様々な活動によりその場所は豊かになります。本授業では、地域協働による地域社会を活性化する事例を通じて「コミュニティ」の重要性を学び、政策と事例を往復させながら、地域社会を再創造するための方法とヒントを得ることを目指します。</p> <p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生は、地域社会学の現代的意義について説明できる。 2. 学生は、地域資源・課題から自分が住まう地域社会を見る目を身に付ける。 3. 学生は、コミュニティ政策と喫緊の地域社会問題についての知識を習得することができる。 		
授業概要	<p>授業概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション----自己紹介、授業計画、履修上の注意 2. 高度経済成長と「豊かな」社会の到来 3. 地域共同体の崩壊とコミュニティの構想 4. 地域社会の諸問題（1）----グローバル化と規制緩和 5. 地域社会の諸問題（2）----「まちづくり三法」とコンパクトシティ構想 6. 地域社会の諸問題（3）----過疎過密社会と限界集落 7. 地域社会の諸問題（4）----外部化・サービス化する社会 8. 進捗状況確認テストあるいは課題 9. コミュニティ再興への機運---「阪神淡路大震災」とNPOの台頭、地域協働体 10. 地域協働の事例（1）：排除型まちづくり・ゲートド・コミュニティの問題----国内外の事例 11. 地域協働の事例（2）：スーパー堤防----東京都江戸川付近 12. 地域協働の事例（3）：地域社会における多文化問題 13. 地域協働の事例（4）：福祉・学習支援----東京都文京区駒込地区 14. 地域協働による地域社会の再創造 15. まとめとレポート課題提出 		
学習演題（予習・復習）	<p>1～3回 予習・復習：オリエンテーションでおこなった授業の方向性と他の授業との関連性、および授業の流れを把握し(各90分程度)、配布された資料を整理しながら、次の授業の準備にとりかかる(各90分程度)。</p> <p>4～7回 予習・復習：授業ごとに提示されるキーワードの確認(各120分程度)。提出される小課題にむけた予習をおこない、指示されたテーマに関連する文献や参考資料に目を配る(約120分程度)。</p> <p>8～10回 予習・復習：提示されるキーワードの確認と定着を図る(各90分程度)。今後、事例研究が多くなるため、書籍あるいは情報検索を使い、取り上げる地域について下調べをしておく(各90分程度)。</p> <p>11～14回 予習・復習：これまでの授業で配布された資料を精査し(各120分程度)、キーワードを中心にまとめながら、テストに向けた準備にとりかかる(各120分程度)。</p> <p>*日ごろから、地域社会の事柄に関心を持ち、あらゆる媒体を通じて情報を得たり、地域社会の現場へと赴くなどして地域社会そのものにふれてほしい。</p>		
授業方法	授業は講義形式で行うが、適宜、動画やビデオ映像を視聴するなどして、授業の内容の理解を深めていく。また、適宜、授業の進行に応じてグループディスカッションをしていく。*オンライン授業という形態となる場合もある。その際は適宜対応する。		
成績評価の基準	評価:発言など授業への参加状況及び中間テストあるいは課題提出40%、期末レポート60%で評価する。 授業冒頭では、リアクションペーパーを使用しながら授業内容を振り返り、また評価に関してはフィードバックして、授業内で講評する。オンライン授業という形態になった場合、成績評価やフィードバックの仕方については適宜説明する。		
教科書	適宜紹介する。		
参考書	適宜紹介する予定。		

	宮本和彦編著,2020,『変動する社会と生活』八千代出版.
実務経験のある教員による授業	
実務経験の内容	
実務経験の当該科目への活用	